食卓彩菜 Vol. 54　2018年4月号

マーマフーズの 食卓彩菜

この度は、「毎日のお惣菜」頒布会をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お客さま方の食卓に彩を添える季節の旬のお惣菜を、ひと品ひと品、まごころを込めてお届けいたしますので、味付けやメニュー、サービス等についてお気づきの点がございましたら、同封のはがきなどで、ご意見やご感想等何なりとお寄せくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

おやすめんせ「焼きプリン大福」

「ぺっこ」は「ちょっと、又は小さい」、「おやすめんせ」は「お休み下さい、又は休んでいって（寄っていって）、おやすみなさい」という意味の花巻弁です。題字は「ちょっと、ここで休んでいって～」という意味です。

今年の桜の開花は、昨年よりも早くお天気にも恵まれたので、お花見も終わってしまったところも多いと思われますが、皆様のところはいかがでしたでしょうか。私は「花より団子」、やはりお花見には、お団子類が欠かせません（笑）。以前にも「お茶餅」「経木まんじゅう」などのお団子もご紹介させていただきましたが、今回も花巻の人気商品「焼きプリン大福」をご紹介いたします。

「焼きプリン大福」は、花巻空港と新花巻駅の中間、国道286号沿いに在ります花巻市宮野目特産物直売所「案山子（かかし）」で販売されております。うっかり見落として通り過ぎてしまうほどの建物ですが、3時過ぎに行くと、店内に商品がほとんど残っていないほど、お値段お得な新鮮野菜も人気の産直です。そんな人気の産直で、大好評なのが「焼きプリン大福」です。県外からも買いに来るほど、ファンも多い商品です。

もともと「産直に新たな魅力づくりを！」と集まってできた地元の農産加工グループが、お菓子類や総菜などを製造し、「案山子」で販売していました。その中で、冬には作れないイチゴ大福の代わりになるものをと、焼きプリン作りの得意なメンバーが試しに作ったところ、その美味しさが口コミで広がり、テレビ取材もあって爆発的に売れるようになったようです。もちろん粉で作られた薄めのふわふわの生地に、プルプルの焼きプリンとろけるホイップクリームが包まれていて、絶妙な食感も楽しく、甘すぎない大福です。つぶあんも入っている「抹茶ババロア大福」、コーヒーの香りの「カフェプリン大福」、季節限定の「生苺大福」「かぼちゃ大福」などもありますよ。他にもこちらでは定番のお団子「お茶餅」「きりせんしょ」なども売っています。私は、ついつい甘い系の大福とともに、しょっぱい系のお団子類も買ってしまうので、いつも買いすぎに注意！と自分に言い聞かせながら購入しています（笑）。

機会がございました際は、ぜひ召し上がってみてくださいね。

花巻だより

「繋ぐ」6年ぶりに出場、花巻東！ 第90回選抜高校野球

シーズン前から、米大リーグのロサンゼルス・エンゼルスに入団した大谷翔平選手が話題となっていましたね。その大谷選手の母校・花巻東高校が6年ぶり3回目、春の選抜高校野球に出場いたしました。埼玉西武ライオンズの菊池雄星投手が出場した2009年春の選抜高校野球では準優勝したこともあり、全国に名前が知られるようになりましたが、最近は出場から遠のいていた感があり、花巻市民も待ちに待っていた春の便りでした。昨年夏の県大会での敗戦から、「繋（つなぐ）～逆襲の花巻東～」をスローガンに、機動力を生かして点を重ねる「つなぐ野球」に活路を見出し、この春の出場につながりました。初戦から愛知の古豪・東邦高校と緊張感のある好ゲームを展開いたしました。スタンドでは、スローガンを書いた手袋をし、太鼓を叩いて必死に応援している野球部員の姿もありました。「繋（つなぐ）」という言葉には、打線を次の打者に繋ぐだけではなく、皆の気持ちを繋いで戦う、先制されていても望みを繋ぐなど様々な意味もあるのでしょうね。新聞の県内版に選手やチームを支えている方々の特集記事がありました。冬のオリンピックの時も感じましたが、選手は、支えてくれている方々、応援してくれている方々の気持ちも繋いで、自分の力に変えて戦うのでしょう。私も、応援の声は選手に繋がっていると信じて、どのようなスポーツでも、頑張っている選手たちにエールを送りたいと思いました。